

# くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2019.12.12 NO.263

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話・FAX 5932-6170

区議会控室 3312-2111(内)2319



## 商店会の補助金不正問題

### 真相解明を果たさないままの区の決定は問題

第4回定例会で、西荻窪の商店会の補助金不正受給に関わる議案(補正予算)が提案されました。日本共産党杉並区議団は、領収書偽造については、全面的に商店会の責任が問われるものの、協賛金未計上について、区に法的責任はなく、都補助分全額を商店会に求めるとする区の結論は妥当ではないとして、議案に反対しました。

定例会最終日の12月6日、私は本会議で反対討論を行いました。

#### 5年に渡り不正を正さなかった区の責任は重大

区は、平成26年に協賛金未計上で都からは正指導を受けながら、翌年以降も未計上の実績報告を都に出し続けていました。その責任は重大です。

補助金申請にあたって、区は商店会から提出された報告が適正か否かを確認することが求められています。わが党の質疑で、担当職員も決裁した幹部も、一度も商店会関係者に、協賛金の取り扱いについて問い合わせしていません。浮き彫りになりました。



業務の多忙や決裁量の多さなどは言いわけになりません。

現地確認を含め、申請内容を審査すること、定められた都及び区の要綱の不履行であり、行政としての責任放棄と指摘せざるをえません。

#### 協賛金を集めたイベントに使用区が知っていた可能性は濃厚

平成27年度ハロー西荻の現金出納帳には「協賛金」が記入されており、この出納帳を区の担当者も見ていたことを、区も認めました。商店会がイベントで協賛金を集め使っていたことを、区の担当者が知っていた可能性は濃厚です。また、協賛金等を掲げる花かけについて、職員が花かけを指して掲示をやめるよう指示があったとの商店会関係者の証言があったことも明らかになりました。

#### 区の指導が協賛金未計上を誘導した疑いも

平成28年2月の西商連役員記録には、区担当者が「ハロー西荻とおわら風の舞の協賛金は西商連の運営費として計上する」と発言したことが記載されていました。区の指導が協賛金未計上を誘導した疑いは濃厚です。

#### 行政として公正さを欠く態度

党区議団は、議員としてのチェック責任を果たす立場から、都や区への資料開示請求、関係者から聞き取りを行い、知りえた情報や資料を区に提供し、公正な検証を求めてきました。しかし、区は、わが党が指摘してきた点に対し、十分な説明や説明を行わないまま決定を出したことは、行政としての公正さを欠く態度であり、問題です。

採決では、日本共産党のほか、一人会派の5名が反対しました。

区内各地で住民合意の無い道路整備が加速

# 補助133号線 事業認可に向け動き出す・・・

## 中杉通り延伸（五日市街道まで） 住宅街に16メートル道路が・・・

都市計画道路補助133号線（中杉通りの五日市街道までの延伸）の事業認可に向けた動きが開始されました。西荻窪地域の補助132号線道路拡幅をはじめ、杉並区内各地で住民合意の無い道路計画が深刻な問題となつていきます。

11月14・16日、補助133号線の事業概要、測量についての東京都の説明会があり、2日間で340人の方が参加しました。

地域住民が立ち上げた「都市計画道路補助133号線に反対する会」は、説明会開始前に問題をお知らせする資料と要望書、測量お断りプレートを配布。反対する会の「のぼり旗」も立てられ、住民合意のない計画を見直すよう住民の切実な声が上がりました。

参加者から活発に意見が出され、



補助133号線は都施行路線として整備される。立ち退き棟数は100軒程度と見込まれる。



大勢の住民が参加。

・道路の完成まで10年以上かかる。  
・道路用地の買い取りの補償について、道路部分は買い取るが、残地は価値が目減りした分を金銭で補償するのが原則的な対応。残地の買い取りの補償は受けられない

・道路用地周辺の健康被害や補償は受けられない。  
等々、住民の権利が大きく制限される実態が明らかとなりました。

不要不急の道路計画は撤回すべきです。

## 災害時に聞こえない「防災行政無線」改善を 個別受信機の導入を求める

災害時、各地域の防災無線から行政の防災関連情報が発信されますが、地域住民からは「防災無線が聞き取りにくい」という切実な声が寄せられています。

日本共産党区議団は、この間の議会論戦で、避難所や区立施設に設置されている防災無線の戸別受信機を、個人宅にも早期に設置するよう求めています。

区は、防災無線が聞き取りにくいという区民からの声があることを認めながらも、戸別受信機はアンテナ設置等も必要となり、現状では個人宅への設置は高額で困難とし、メールや電話サービスを利用して欲しいと答弁しています。

しかし、他の自治体では個別受信機の設置を進めているケースもあり、高齢者世帯や障害者世帯には速やかに設置するよう、区に、引き続き求めていきます。



文字表示機能付  
個別受信機

## スマートフォン向け防災地図アプリ 【すぎナビ】をご活用ください

「すぎナビ」は、杉並区のスマートフォン向け防災地図アプリです。地域住民と杉並区が災害情報を共有することで、避難所や安全な避難経路などの情報をリアルタイムに提供することができます。

平常時には、杉並区の公式電子地図サービスとして様々な地図情報を見ることができます。防災、地震被害シミュレーション、都市計画、観光・文化・自然、こども・子育て、福祉・健康・くらし、道路、統計情報、イベント情報、公共施設案内などを利用できます。



「すぎナビ」を利用するには、スマートフォンにアプリをインストールする必要があります。各ストア内で「すぎナビ」と検索してください。

### 【すぎナビの主な機能】

- 通信が途絶えても使えます  
オフラインの状態でも、地図の表示や、保存したルートのご案内がご利用になれます。
- 被害状況を投稿できます
- 安全な避難経路を案内、施設（避難所）を探せます  
危険箇所を避けた避難所等への経路を案内します。
- 災害時のお知らせ  
災害時、区のお知らせを受け取ることができます。